

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（1165））
2. 日時：平成30年7月31日 17時55分～18時00分
3. 場所：原子力規制庁 8階D会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

矢野審査チーム員、高嶋原子力規制専門員

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 プラント管理グループ 主任

5. 要旨

- (1) 日本原子力発電株式会社から、平成26年5月20日に申請、平成29年1月24日及び平成30年2月13日に一部補正のなされた東海第二発電所の工事計画認可申請について、当該申請書に係る補足説明資料の一部が提出された。
- (2) 原子力規制庁から、事業者の準備が整ったものからヒアリングを進め、必要に応じて指摘を行っていく旨を伝えた。
- (3) 日本原子力発電から、了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・ V-1-1-2-2-1 耐津波設計の基本方針
- ・ 日本原子力発電株式会社 東海第二発電所 添付書類 発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書 口頭 発電用原子炉施設の一般構造（8月3日分）抜粋資料
- ・ V-3-9-2-2-5-3 付属設備の管の基本板厚計算書
- ・ 東海第二発電所 ブローアウトパネル閉止装置追加加振試験
- ・ V-3-9-2-3-2-2 管の応力計算書
- ・ V-2-5-5-4-1 常設高圧代替注水系ポンプの耐震性についての計算書
- ・ V-3-9-2-3-2-1 管の基本板厚計算書
- ・ V-2-3-3-2-2 炉心シュラウドの耐震性についての計算書
- ・ V-2-3-3-2-3 シュラウドサポートの耐震性についての計算書
- ・ V-2-3-3-2-4 上部格子板の耐震性についての計算書
- ・ V-2-3-3-2-5 炉心支持板の耐震性についての計算書
- ・ V-2-3-3-2-6 燃料支持金具の耐震性についての計算書

- ・ V-2-3-3-2-7 制御棒案内管の耐震性についての計算書
- ・ V-3-9-2-2-5-4 付属設備の管の応力計算書
- ・ V-2-5-7-2-3 管の耐震性についての計算書
- ・ V-3-5-6-2-4 管の応力計算書
- ・ 工事計画に係る補足説明資料 耐震性に関する説明書のうち 補足-340-7【水平2方向及び鉛直方向の適切な組合せに関する検討について】
- ・ 工事計画に係る補足説明資料 耐震性に関する説明書のうち 補足-340-17【常設高圧代替注水系ポンプの耐震性についての計算書に関する補足説明資料】
- ・ 建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-2【応力解析におけるモデル化, 境界条件及び拘束条件の考え方】
- ・ 建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-4【地震荷重の入力方法】